

早坂 暁

長崎屋
日記

びいどろ
で候せう

弐



長崎屋
夢日記

江苏工业学院图书馆
藏书章

早坂
暁

早坂 暁(はやさか あきら)

昭和4年、愛媛県生まれ。日本大学芸術学部卒業。出版業、生け花評論などを経てシナリオライターとなる。「修羅の旅」(NHK)でモンテカルロ国際テレビ祭脚本賞、「続・事件」シリーズ(NHK)で芸術選奨文部大臣賞受賞。代表作に「天下御免」「冬の桃」「夢千代日記」「花へんろ」「円空」「失われし時を求めて」「山頭火(以上NHK)」「空海」「天国の駅」など。著書に「ダウンタウン・ヒーローズ」「華日記―昭和生け花戦国史(新潮社)」「公園通りの猫たち(講談社)」「天下御免(大和書房)」「円空への旅」「山頭火―何でこんなに淋しい風ふく―」(日本放送出版協会)などがある。

びいどろて候そろ

——長崎屋夢日記——

〈二〉

平成二年七月二十四日 第一刷発行

著者

早坂 暁

発行

日本放送出版協会

〒150 東京都渋谷区宇田川町四二―一
電話 〇三―四六四―七三二一
振替 東京一―四九七〇―一

印刷

株式会社 光邦

製本

株式会社 大熊整美堂
株式会社 石毛製本所

●落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

©1990 Akira Hayasaka Printed in Japan

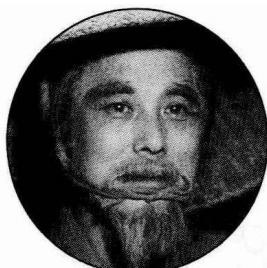
ISBN4-14-005154-X C0393

〈目次〉

一、江戸で結婚すれば（上の巻）	7
二、江戸で結婚すれば（下の巻）	53
エッセイ◆江戸の混血児	103
三、江戸びつくり大占い	109
四、ようこそ貧乏神	153
◆ドラマのなかに江戸がいきいき〈二〉田中優子	199

びいどろで候^{ぞろ}
〈二〉

〔登場人物紹介〕



平賀源内
(山口 崇)



長崎屋女将・かおる
(八千草 薫)



長崎屋番頭・飛太郎
/鼠小僧
(池畑慎之介)



お蘭
(原田知世)



辺見鋭之介
(萩原流行)



浮世絵師・写楽斎
(阿木 燿子)



毬夜安奈
(中川 安奈)



芸者・ちび奴
(片桐光洋)



長崎屋料理人・ぶり助
(結城 貢)



貧乏神
(フランキー堺)



遠山左衛門尉
(河原崎長一郎)



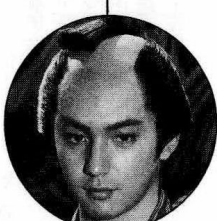
律
(林 美智子)



滝沢馬琴
(日下武史)



お百
(楠トシエ)



遠山金四郎
(保阪尚輝)



滝沢宗伯
(中島陽典)



医者・柳田玄々
(寺田 農)



娘鷹・マイ
(川上麻衣子)



北町奉行格別同心
半田半蔵
(財津一郎)



将軍・徳川家斉
(細川俊之)



老中・水野忠成
(内藤武敏)

●NHK新痛快時代劇

「びいどろで候」制作スタッフ

作……………早坂暁
音楽……………MALTALANG
タイトル画……………杉浦日向子
監修……………西山松之助
考証……………鈴木敏三
衣裳考証……………小泉清子
殺陣……………林邦史朗
制作……………音成正人
デスク……………浅野加寿子
演出……………重光亨彦
……………原嶋邦明
……………外園悠治
……………小見山佳典
……………榎戸崇泰
……………若泉久朗
……………柳川 強
……………田嶋宣助
……………青木聖和
……………小林 稔
……………曾我部宣明
音響効果……………広瀬洋介
……………矢島 清
……………石川恭男
記録編集……………阿部 格

●キャスト

かおる……………八千草薫
お蘭……………原田知世
平賀源内……………山口 崇
秘夜安奈……………中川 安奈
写楽斎……………阿木 燿子
辺見鋭之介……………萩原 流行
飛太郎(鼠小僧)……………池畑慎之介
ぶり助……………結城 貢
でぶ助……………高野 嗣郎
雀／お里……………市川 夏江
ちび奴……………片桐 光洋
半田半蔵……………財津 一郎
遠山左衛門尉……………河原崎長一郎
律……………林美智子
遠山金四郎……………保阪 尚輝
滝沢馬琴……………日下 武史
お百……………楠トシエ
滝沢宗伯……………中島 陽典
柳田玄々……………寺 田 農
丸太屋尺三……………マルタ
マイ……………川上麻衣子
山又山保造……………園田裕久
越川権六……………坂口 芳貞
土岐村元立……………篠田 薫

路……………高山典子
徳川家斉……………細川 俊之
水野忠成……………内藤 武敏
松平保美……………原 保美
貧乏神……………フランキー堺
ナレーション……………島倉千代子

●放送記録 (NHK総合テレビ・夜8時～8時45分)

第六回 江戸で結婚すれば(上の巻)平成2年5月16日
第七回 江戸で結婚すれば(下の巻)平成2年5月23日
第八回 江戸びつくり大占い 平成2年5月30日
第九回 ようこそ貧乏神 平成2年6月6日

●本書には、早坂暁氏のオリジナルシナリオを収載しました。放送内容と一部異なる点がありますこと、ご了承ください。

一、江戸で結婚すれば（上の巻）





ホテルの結婚式

華麗なる結婚式が始まっている。ライトのなか、白いドレスの花嫁と花婿が入場。なんと、花嫁は原田知世さん。花婿は保阪尚輝君。八千草薫さん、河原崎長一郎さんたちが、親として出席している。

ウェディング・ケーキを切る二人。島倉千代子さんが、マルタのサキソフォンで歌っている。

N (ナレーション) へああ 君よ

美しい花のように生きて

愛する人を思い輝きつづけて……

ああ君よ ふるさとの風のように生きて

懐かしい父や母の微笑忘れず……

八千草さん、河原崎さん、微笑を浮かべてください。あれッ、林美智子さんが、何か憮然とした顔をして河原崎さんの隣に立っている。あッ！ 口の中が黒い！

長崎屋

二階の寢室、お蘭が床から体を起こした。目が覚めたのだ。



お 蘭

……変な夢……変な異人服着て……あッ！ 隣に立ってた人は金四郎さん。いやだわ。なんだろう、今の夢……。

遠山家

金四郎が目を覚ます。ガバと上体を起こす。

金四郎

なんだ、今の夢は！ オランダふうのかっこうをして……あッ、隣に立っていたのは、お蘭ちゃんだった。確かにお蘭ちゃん……くそッッ！ 覚めるな、覚めるな！ ずっとあのまま夢を見ているというんだ！ あの顔だ。あの顔が出てきたんで、目が覚めたんだ。あッッ！ たまんないよ、くそッ！ 枕もとに置いてある刀を手にした。

金四郎

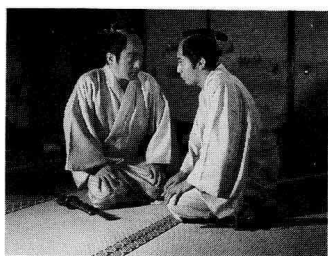
トーツッ！ ヤーツッ！ キエーツッ！
ばとう抜刀して、むちゃくちゃに刀を振り回したり、突き通したり……。

同・寝室

金四郎の母、律(50)が起き上がる。

律

……？
トーツッ！ キエーツッ！ と、金四郎の声が聞こえてくる。



律 あの声……。

起き上がり、羽織を着て廊下に出た。

同・金四郎の部屋

廊下をやつてきた律。金四郎の部屋の前。もう、声はない。が、障子しやうじが少し開いている。

律 (そつと) 金四郎……。

のぞくと、中に、金四郎と、父、左衛門尉じやうもんゑいがいる。左衛門尉は寝巻き姿で、刀を手にしている。叫び声で、刀を持ってやつてきたのだ。

左衛門尉 (律には気づかず) 真夜中に刀を振り回すやつがいるか。

金四郎 申しわけありません……。

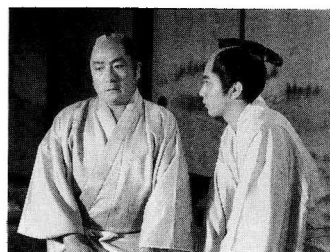
左衛門尉 (小声で) ……モヤモヤするのであれば、始末する場所を教えるだろう。

金四郎 そんなことでは……。

左衛門尉 恥ずかしがることはない。男子たるもの、若いときはモヤモヤとしてくるものだ。

金四郎 あ、父上もですか。

左衛門尉 恥ずかしながら、モヤモヤいたした。



金四郎 (ホッと) そうですか。父上もですか。

左衛門尉 男と生まれたからには、いたしかたないのだ。

金四郎 父上。

左衛門尉 うん？

金四郎 ……モヤモヤというのは、いつごろまで続くものでしょうか？

左衛門尉 ……それは、(天を仰ぐ思いで) 残念ながらというか、不覚にもというべきか

……一生。

金四郎 一生！

左衛門尉 これ、大きな声を……！

廊下から、こちらを見つめている律に気づいた。

左衛門尉 ど、どうした、律……。

律 どうしたは、こちらがお聞きしたいこと。真夜中に、お二人して、刀を手に、何

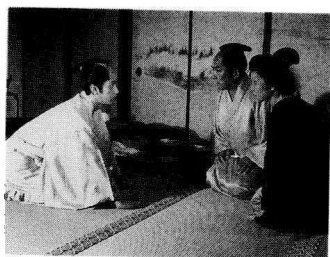
事でございますか。

なんと、律は口の中が黒い。歯に鉄漿かたねをつけているのだ。——お歯黒はぐろです。

左衛門尉 いや、なに、ちよつと、金四郎と男どうしの話というか、ま、男だけの話を、

ちと……。

律 男だけの話と申しますと、お城のお仕事のお話で？



左衛門尉 いや、仕事とは関係ないが、男にとつては、抜き差しならぬことであつて……。

律 抜き差しならぬとは、容易ならぬこと。できれば、私にもお聞かせ願えれば。

左衛門尉 だから、いったであらう。男どうし、男だけの話じゃと。

律 ……ひとつ家^やに、親子、夫婦^{めおと}の関係でありながら、男どうしと申されて、私ひとり^りのけ者とされるとは、なんとも寂しゅうございます。

目に涙。

左衛門尉 そ、そんな大仰^{おおぎやう}なことではない。

律 では、お話しくだされませ。

左衛門尉 だから、男子たる者、何をもつて男たりうるか。はたまた、何がゆえに男と呼ばるるか……。

律 そんな難しいお話を、寝巻き姿で真夜中に……。

左衛門尉 そ、そうであつたな。金四郎、明朝にやろう、明朝に。早う休め。

出ようとする左衛門尉。

金四郎 父上！（畳の上に手をついて）母上！ 金四郎、お願いがございます。

律 なんですか、そんな改まつて。

金四郎 金四郎、結婚を決意いたしましたしてございます。

律 結婚を決意!!

金四郎 はい！

左衛門尉 金四郎、今は真夜中じゃ。明朝に話せ。

金四郎 いえ。ただいま、決心をいたしましてございます。

律 ああ、よういった。そろそろ、金四郎も二十四歳。長崎勤めがあつて嫁取りが遅

れ、母はひそかに氣をもらんでおりました。

金四郎 はい。金四郎、嫁をもらいとうございます！

律 ああ、その言葉を待つておりました。私も、ひそかに心づもりしておる娘がお
ります。

左衛門尉 誰じゃ……。

律 ほれ、寺社奉行……。

金四郎 (いわせず) 母上！ 父上！ 嫁はもう、決めてございます！

律 なに！ もう決めておる……。

金四郎 はい！

左衛門尉 金四郎、誰じゃ！？

金四郎 ……お蘭殿。

左衛門尉 おお、お蘭殿……。 (うなづく)

律 なんですか、オランとは。鬼ごっこではあるまいし、オランではわかりません。